

生活科・図画工作科・総合的な学習の時間（全学年）

テーマ【 ホタルの住む川 「ホタル学習」と有機農業 】

岸和田市立東葛城小学校

《学習のねらい》

- ・自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にしたり、自分たちの暮らし方を工夫したりすることができるようにする。
- ・町の自然、人、社会、公共物などに関心をもつとともに、自分たちの生活が地域と密着していることを知り、まわりの人と適切に接することの大切さや、安全に生活できているありがたさを知る。
- ・塔原町で有機農業に携わる方の話を聞いて、その思いと苦労について感じ取る。

《取組みについて》

	活動内容と活動の詳細	指導のポイント
1・2年 〔生活科〕	<p>①ホタルが住める環境について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区の津田川を観察し、「産卵できるコケがある」「幼虫の時に生活できる川とえさがある」「山あいである」「雑木林がある」「乾燥しにくい土地である」ことを調べ、クイズ形式で発表する。 	<p>■豊かな自然環境・地域の文化・歴史、さらに社会環境等の子どもたちを取り巻く日常生活の中から興味・関心のある課題を見つけ、その課題に対応した学習活動を展開する。</p> <p>■学習活動の場を地域に求め、地域の方々とかかわることで、地域の現実に直接触れ、地域の一員としての自覚をもって、これからの自分の生き方を考えさせるようにする。</p>
3・4年 〔総合的な学習の時間〕	<p>②ホタルの住める川を守ってきた人々の努力について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年…津田川の一斉清掃。川の水を汚さないために洗濯や食器洗いで合成洗剤を使用しないことを学習する。 ・4年…「地域でとれる作物」の学習で、カボチャ、カモウリ、ニラ、玉ねぎなど給食の食材として使われている野菜・果物について学ぶとともに、ホタルの住む地域でとれた野菜や果物は安全・安心であることを学習する。 <p>⇒相川町の方々だけでなく、その上流に住む塔原町の方々の努力（塔原地区の農業は、化学肥料や農薬を使わない）があって、相川町の「ホタルまつり」が行えることを知る。</p>	
5・6年 〔総合的な学習の時間〕	<p>③地域（相川町）の米作り、玉ねぎ作りを体験する。</p> <p>④塔原町の環境と人々の生活について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機農業（農薬を使わない農業）のよさと難しさについて学習する。 	
5・6年 〔図画工作科〕	<p>⑤「ホタルまつり」の灯籠を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相川町で行われている「ホタルまつり」で、夜に明かりをともし灯籠を作成することで、地域の行事に親しみを持つ。 	



《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

「有機農業」をしている農家の方

《成果》

- ・子どもたちが主体的に地域のことについて調べ、ホタルの住む地域の環境を守っていこうとする意識が育った。
- ・自分で育てた米や玉ねぎ、地域で収穫された野菜や果物が給食の食材として使われている時には、興味を持って配膳し、楽しく・おいしくいただいた。

